

第3回 加西こども園保護者説明会について（会議録）

【日時】 令和8年9月30日（水） 11時00分～

【場所】 加西こども園 遊戯室

【出席者】 保護者 13名、教育委員会事務局 部長以下4名、加西こども園園長

1 民営化方針の説明

- ・加西市では約10年前から幼保一体化を進め、中学校区単位でこども園の整備を推進してきました。
- ・民営化の目的は、少子化に伴う施設過多の解消を図るとともに、私立園による特色ある教育・保育の実施と、公立園による特別支援保育・医療的ケア児対応・幼児教育研究といった専門的役割の分担を明確化することです。
- ・加西こども園については、令和9年度に事業者を決定のうえ、令和10年度を移行期間とし、令和11年4月からの民営開園を目指します。
- ・先行して民営化を行った北条東こども園の当時の保護者アンケート結果を共有し、加西こども園の民営化においても同様の課題が生じないよう対策に活かしていきます。

2 質疑応答

- ・北条東こども園の民営化時に挙げられたデメリットへの対応実績と、民営化後も市が最終的な相談窓口となってくれるのか確認したい。
 - 北条東こども園では移管前1年間の引き継ぎや相談対応等を通じて改善・調整を図りました。民営開園後も日常の対応は園と直接行なっていただきますが、園で解決しない課題や指導が必要な事項につきましては引き続き、こども未来課が最終的な相談窓口として丁寧に対応します。また、移行期から開園後1年間にわたり『保護者・教育委員会・事業者』による3者協議の場を継続的に設置していきます。
- ・民営化に伴い、道具箱や制服、外部講師費用などの新たな費用負担が発生しないか心配である。
 - 保育料は公・私立を問わず0歳～5歳まで無料です。制服や体操服、学用品等につきましても、現在の加西こども園のものを継続利用できるようにするほか、必要な備品は貸与方式とするなど、保護者の皆様に新たな金銭的負担が生じないよう事業者と協議・調整します。
- ・家庭での基本的な生活習慣の指導や、現行の丁寧な保育形態がおろそかにならないか。
 - 基本的には現在の加西こども園の保育形態を引き継ぐよう求めています。
- ・応募が1社のみの場合の決定基準や、選定過程における情報公開についてどのように考えているか。

- 応募が 1 社のみの場合であっても、審査委員会によるプレゼンテーションおよび書類審査を行い、一定の基準点に達しない場合は選定とせず再公募等を行います。公募期間中の応募事業者名は非公開となりますが、決定後は速やかに公表します。
- ・市内で実際に事業者が運営している他の私立園を見学できる機会はあるか。
 - 園によっては見学機会を設けているところもあります。具体的にご案内できるか確認し、園経由でお知らせします。
- ・北条東こども園のアンケートにあった「異年齢保育（縦割り保育）」や「先生の配置」は加西こども園でも導入されるのか。
 - 受託事業者によって異なるため、必ず異年齢保育になるわけではありません。基本的には年齢別のクラス運営など、現在の加西こども園の保育形態を引き継いでいただくよう伝えていきます。
- ・今後数年間、定期的にアンケートや調査を実施してフォローしてほしい。
 - ご意見を踏まえ、定期的なアンケート調査等のフォロー体制について検討・対応します。

3 まとめ

出席された保護者の皆様から、民営化に伴うフォロー体制や費用負担、保育内容の継続等について多くの貴重なご質問・ご要望をいただきました。今後は、保護者の皆様の不安に寄り添い、丁寧な対話と合意形成に努めるとともに、在園児および保護者が安心して加西こども園に通えるよう支援に努めます。